



豊岡中学校

# 同窓会々報

第41号

## もう一歩前へ

会長 杉浦 美充（30回生）

第74回生の皆さん、卒業おめでとう。今年も新たに157名の同窓生が入会されますこと、心より歓迎いたします。また、関係者の方々におかれましては日頃より多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、様々な制限がなくなり、2年間我慢してきた卒業生の皆さんは有意義な1年を過ごせたのではないのでしょうか。しかし、国内外ではいろんな出来事がありました。いや有り過ぎてこのスペースでは足りないくらいです。未だに続いているロシアによるウクライナ侵攻。昨年10月に起き現在進行形である、イスラエル軍とイスラム組織「ハマス」の衝突。それぞれ、早急の終息を願うばかりです。

暗い話もあった反面、スポーツ界では喜ばしい話題ばかりでした。特に野球。WBCの優勝に始まり、大谷選手のメジャーリーグ日本人初のホームラン王 & 史上初の2度目の満票での MVP。そして、破格な契約でのドジャース移籍、おまけにオリックスの山本投手もドジャース入団等々。野球以外のスポーツでも挙げ出したらキリがありませんが、2024年は益々メジャーリーグから目が離せなくなりました。

この同窓会報では、「努力」について何度か書かせてもらっていますが、昨年、マリナーズのイチロー氏が沖縄の高校の野球部にコーチとして招かれ、二日間の指導を行った時のニュースを観て、心に残ったことがあります。それはイチロー氏が野球部員に、「努力は必ず報われる、という言葉があるが、そう思ってる人は見返りを求めている。これだけやったから必ず報われるはずだと、その見返りを求める姿勢がダメ。努力してるかどうかは第三者が決めること。自分はこれだけ努力している、って思っている間は大事なことではない。もちろん努力はしないといけませんが、それは大前提であり、『自分は頑張っている』という感触から抜け出さないといけない。」と話していたことです。皆さんも、「自分は頑張っている」ではなく、「まだまだイケる！」精神で精進していただきたいと思えます。

末尾になりますが、元日に発生した能登半島地震で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

## 未来にむけて

豊岡中学校長 鈴木 孝昌

豊橋市内22校の市立中学校には、それぞれ同窓会があります。卒業生の人数分の会員数を有し、年次の代表幹事がいて、成人を祝う会や同窓会でひと仕事することになります。このたび、第74回同窓生の学級代表や学年代表に選出されたみなさんをはじめ、すべての同窓生が、今後も豊岡中学校のために、ご活躍されることを期待しています。また、母校の後輩たちが長きに渡って豊岡中学校をいっそう発展させていくことができるよう、応援し続けてください。

現在の日本は少子化が進み、他府県や他市町村によっては、25年後の2050年には、0～14歳の人口が今の半数になると予想されています。いろいろな問題が起こると言われています。私は中学卒業まで、田原市で過ごしました。当時は7校の中学校がありました。人口減少の影響で統廃合がすすめられ、今は4校になっています。廃校とともに、同窓会がなくなった中学校が3校あるわけです。私が卒業した中学校は今でも残っていますが、廃校になった中学校の同窓生の気持ちを想像すると、胸がしめつけられる気分になります。豊橋の中学校にはどんな未来が訪れるのでしょうか。

私にとって、3年生のみなさんと出会い、中学校生活を過ごした時間はたったの1年間でしたが、日々の授業や部活動での真剣な姿、学校行事の準備や当日に活躍する姿、修学旅行で気さくに声をかけてくれた姿など、どれをとっても思い出深く心に残っています。みなさんとともに、もう少し長く過ごせたら、と名残惜しい気持ちになってしまいます。これからも、新しい人との出会いを大切に、この豊岡中学校で過ごした仲間との絆も大切にしてくれることを願っています。

最後になりますが、杉浦美充同窓会会長をはじめ、歴代同窓会役員の方々には、本校第74回生の入会を受け入れていただいたことを感謝申し上げますとともに、貴同窓会の益々のご発展を祈念いたします。



## 同窓生の声

### 人生は七転八起

第30回生 金子 昌紀

第74回生の皆様、ご卒業おめでとうございます。中学3年間の生活は如何だったでしょうか？入学当初より新型コロナウイルスの影響を受け、制約の多い中での学校生活だったと思います。多くの我慢を強いられた分、卒業後は明るい未来が待っていると信じて、新たなステージに飛び立ってください。

さて、私が豊岡中学校に入学したのは1977年。当時は岩西・岩田・多米の3小学校から約500名が入学し、12クラスのマンモス学校でした。当時も部活動は盛んで、私は野球部に入部しました。野球人気もあり、私も含めて新入部員は100名を超えていたと記憶しています。血気盛んな若い顧問先生の厳しい指導を受けながら日レギュラーを目指す、自分にとっては厳しい練習の日々でした。部活では同じ失敗の繰り返しに加え、厳しい練習に疲れ果て、次第に勉強との両立も厳しくなり、何度もくじけそうになりました。

そんな時、小学校時代に本で読んで、何度

も勇気づけられた、『人生は七転八起』という、言葉を思い出し、頑張りました（今も座右の銘にしています）。『何度失敗してもくじけず、立ち上がって努力すること』・・・辛い事に負けない・・・。苦しくなるたびに、その言葉を思い出し、自分を奮い立たせて、3年間辞めずに全う出来たと思います。それが自信となって、その後、高校での野球部でも、厳しい練習に耐えながら、3年間続けることが出来ました。

こうして、中学から高校の6年間は部活に勉強に失敗を繰り返しながら、落ち込みながらも頑張れたような気がします。もちろん自分一人ではなく、家族・仲間・先生方にも恵まれ、その支えにも助けられました。

高校卒業後の就職先でも仕事の失敗や人間関係の躓きなど、多くの苦難がありましたが、『人生は七転八起』の精神を胸に40年以上勤めています（今年定年を迎えます）。74回生の皆様も、味わった苦しさや辛さには個人差はあると思いますが、それを乗り越え、見事に3年間を完走されました。是非自信を持って次のステージに臨んで下さい。そして失敗を恐れず、『人生は七転八起』の精神で人生を謳歌してください。応援しています。

最後に豊岡中学校同窓会、関係者の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



第30回生 「野球部」「春の遠足（葦毛湿原）」（卒業アルバムより）



# 豊岡中学校同窓会



## 同窓会役員

会 長	30回生	杉浦 美充
副会長	25回生	山内 壺仁
副会長	25回生	前川 明俊
副会長	33回生	中村 泰久
副会長	47回生	岩瀬 彰吾



## 第74回常任・学級委員

常任委員

4名

学級委員

8名



発 行 豊岡中学校同窓会

〒440-0832 豊橋市中岩田一丁目5番地の2

TEL 0532-61-3278

FAX 0532-65-1201

## 新入会員の声

### 「さいこう」

～最高・最幸・彩光・さあ、いこう！～

第74回生 黒岩 隼迅

中学3年生という最高地点から、景色のように今日までを眺めると、思わずグッとくるものがあります。それぞれの場面を彩る光によって。

「野外活動」。皆で助け合って作ったカレー。うまくいくかどうか以上に、できた味に心打られました。キャンプファイヤーに現れた巨大ペンギン(私たちを見守るべく変装した山内前校長)の姿からは、「友との軌跡を輝かせ、心から楽しむ心意気をもて」と感じました。太陽より明るい、永遠の光を見たのです。

体育祭では、全員で高揚して心を燃やしました。それぞれの得意競技では、強者が激しい火花を散らし、とても眩しかったです。

合唱コンクールでは、それぞれのクラスが「さいこうな歌」という名の絆をつくりあげ、「言葉を越えた魂の呼応」という光を客席へ届けました。

修学旅行では、日本の文化に圧倒され、思わずうなる場面が多かったです。歴史的な視点からも、当時の人々の息遣いにしみを感じ、厳かな光に包まれるような修学旅行でした。

日常では、個性あふれる仲間と共に笑い、悩み、気づき、支え合うことで、鮮やかな光は強さを増しました。

今は山頂から眺めています。しかし、「最高峰」ではありません。私たちは「最幸」な人生を追い求めているのです。同窓生という先達が残してくれた伝統のもと、「彩光」を味わった私たちは、さあ、いこうという思いでいっぱいです。これから、私たちは同窓会の一員となります。どうぞよろしくをお願いします。